

しのおか てらす

	★巻頭特集★ 認知症について 知る！学ぶ！		2025年秋 創刊準備号 VOL.0
★イベント★ 地域イベント、 団体活動の情報 盛りだくさん！			
	★活動団体★ 小牧市で活動 する団体を 多数紹介！		
★ボランティア★ 始めたい人の ための入門編！		★地域応援★ 事業者の地域 応援活動情報！	

11月～12月

秋から初冬に開催される催しをご紹介します。是非、お誘いあわせの上お出かけください。

●マジックのミニ発表会

日時:11月11日(火)10:00～ 場所:ふれあいセンター3階大会議室 主催:小牧マジッククラブ

●市制70周年記念事業小学生ガイド・マメナシ秋の観察会と合格お守りプレゼント

マメナシ秋の観察会を小学生ガイドの案内で開催します。先着100名様にポストカード進呈。

冬でも落ちないヤマコウバシの合格お守りを先着200名様進呈も同時開催。

日時:11月15日(土)10:00から配布次第終了 場所:太良まめなしの里 芝生広場

プレゼント問合先:シニア低山登ろうかい/宮脇 TEL:090-5116-0648

●あおぞら市場

日時:11月23日(日)9:00～ 場所:桃ヶ丘小学校正門(雨天時は桃ヶ丘小学校体育館)

主催:桃ヶ丘小学校区地域協議会



●バス歴史探訪ウォーキング「湖東散策・重文の造酒屋・信長の豪華な館・アショカ王の石塔」

日時:11月28日(金) 主催:小牧歴史ガイドボランティア たぶの木会

※詳しくは下記までお問合せ下さい。

【申込み・問い合わせ】犬飼/TEL:090-2617-5346 Mail:mr.dogkeeper@me.ccnw.ne.jp

●Waibeeee マルシェ(東部振興構想の令和7年度東部地域トライアル活動)

日時:11月29日(土)・30日(日) 両日10:00～16:00

場所:桃花台線旧車両基地用地(小牧市光ヶ丘 6丁目43番地)

※駐車場は台数に限りがある為、公共交通機関をご利用ください。

主催:Waibeeee マルシェ・小牧市

●第9回桃花台音楽まつり「春の祭典・ペトルーシュカ」ストラヴィンスキー 前田陽一朗/北村真紀子(ピアノデュオ)

日時:11月30日(日)13:00開場 14:00開演 場所:東部市民センター講堂 主催:桃花台を考える会・小牧市

【問い合わせ】桃花台を考える会/建部 TEL:090-4259-4868

●ディスレクシア(読み書き障害)って、どんな子？

NPO法人ディスレクシア協会名古屋代表理事吉田優英(やすえ)先生の講演(先着100名)、疑似体験に是非ご参加ください。

日時:11月30日(日)13:30～15:30(受付:13:00～)

場所:ふれあいセンター3階大会議室 主催:パパママサポート あおぞら

【申込み・問い合わせ】下記メールアドレスまでご連絡ください。

Mail:aozora-komaki1202@yahoo.co.jp



●歴史講座「入鹿の里にあった屯倉(ミヤケ)」講師:赤塚次郎先生

日時:12月19日(金)10:00～12:00 場所:ふれあいセンター3F大会議室

主催:小牧歴史ガイドボランティア たぶの木会 ※詳しくは下記までお問合せ下さい。

【申込み・問い合わせ】犬飼/TEL:090-2617-5346 Mail:mr.dogkeeper@me.ccnw.ne.jp

●体験会

体験会の内容は活動の話、除伐体験、林道整備、植樹体験等です。3月下旬～4月上旬はミツバツツジの観察会を実施しています。

日時:毎月第1土曜日と第3日曜日の9:30～12:00の午前中に行っております。

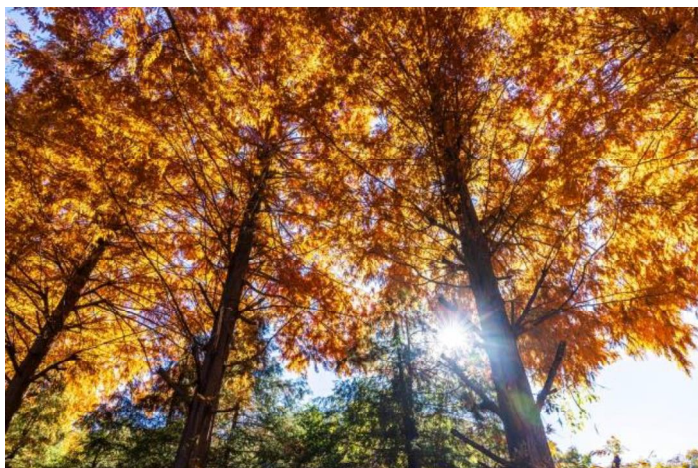
場所:ちごりんの里山 主催:ちごりんの里山

●手話サロン小牧

聞こえる人も聞こえない人も聞こえにくい人もみんなで交流しませんか！

日時:毎月第3日曜日の10:00～15:00に開催しています。

場所:ふれあいセンター2階会議室3 主催:手話サークルおてだま&手話サークルふたば



小牧市の「東部振興構想」にも示されている地域の魅力“豊かな自然”。それは、地域の皆で守り残していくべきものだと考えています。本情報誌「しのおかてらす」では、この未来に残すべき風景を写真データとして記録・保存していくこととします。尚、本趣旨に沿った構成は、2026年4月発刊予定の創刊号からスタートさせます。

※今回の創刊準備号では、表紙および本頁にて花等のイメージ写真(8点)を使用して構成しています。

Index

P.1 Event Information

P.3 巻頭特集「認知症について 知る！学ぶ！」

◎小牧市の支援施策紹介

◎認知症カフェ代表者インタビュー

「オレンジカフェしのおかむら」

「オレンジカフェおおくさ」

「カフェ・和(なごみ)」

「結(もやい)カフェ」

◎認知症予防について学ぶ

P.7 ボランティアを始めてみませんか！

P.8 市民活動団体・ボランティアグループのご紹介

P.12 地域貢献活動を支える団体のご紹介

P.13 事業者の地域応援活動のご紹介

P.14 「東部振興構想」の活動情報



巻頭特集 「認知症について 知る！学ぶ！」

認知症とは

いろいろな原因で脳の細胞が死んでしまったり、脳の働きに不都合が生じ、生活に支障が出ている状態（およそ6カ月以上継続）を言います。認知症は誰にでも起こりうる脳の病気で、85歳以上の4人に1人に症状があると言われています。

2023年(令和5年)の小牧市の高齢者人口は38,101人であり、そのうち6.3%にあたる2,402人が認知症高齢者となっています。また、2040年(令和22年)の高齢者人口は41,823人と推計され、そのうちの11.2%にあたる4,699人が認知症高齢者と推計されています。

(小牧市地域包括ケア推進計画より)

小牧市の支援施策の現状と未来

今回、認知症に関する小牧市の現状と認知症に対する取組みについて、小牧市福祉部地域包括ケア推進課の平野課長と西村副主幹にお話を伺いました。

現在、小牧市では認知症の方や介護されるご家族を支援するさまざまな制度や施策を提供しています。([表1]参照)

今後益々認知症高齢者が増加していきます。それに比例して対応している専門スタッフの業務が逼迫することも予想され、小牧市がこれまで同様のサービスを提供するため、どこまでも体制を拡充させることにも限界があります。

認知症という社会課題の将来を見



小牧市福祉部地域包括ケア推進課の
平野課長(左)・西村副主幹(右)

据えると、地域住民が主体となって、認知症の方やその家族介護者を見守ることが大切になってくると考えています。認知症は早期診断、早期対応が重要なキープポイントです。民生委員や認知症地域支援推進員だけが活動するのではなく、地域コミュニティのひとりひとりが、つながり支える活動に参加して欲しいと思っています。

小牧市からはさまざまな支援の制度や施策を提供していますが、当事者や関係者にその情報が十分届いているとは思っていません。今年度も認知症に関する取組みを広く周知するために、小中学校で認知症について学習する機会をつくったり、認知症啓発月間の9月には「認知症についての市民シンポジウム」の開催、公共施設での認知症啓発パネル展示等を行いました。

《小牧市の主な認知症施策》

表1

◆認知症の人を支えるサービス
「認知症簡易チェックサイト」
「ヒアリングフレイルチェック体験会」
「認知症サポーター養成講座」
「認知症サポーターステップアップ講座」
「認知症ケアパスの普及・活用」
「認知症地域支援推進員の配置」
「認知症高齢者等あんしん補償事業」

「みんなの認知症予防ゲーム講座」
「認知症カフェ」
「チームオレンジ」
「認知症初期集中支援チームの設置」
◆家族介護者支援
「行方不明高齢者家族支援サービス」
◆目配り・見守り体制
「認知症見守りネットワーク」

※詳しくは小牧市役所のホームページにて「認知症に関する取組み」をご覧ください。
【ホームページ】<https://www.city.komaki.aichi.jp>

地域全体で支えるために地域住民の皆さんと共に取組みます

それぞれの地域で見守り力を高めるために、毎年「認知症サポーター養成講座」を開催してきました。認知症サポーターとは、本人や家族、地域の方をあたたかい目で見守る応援者のことです。これまで小牧市では28,000人(令和7年6月末現在)以上の方が受講し、各地域で活躍しています。また、受講者が更に深く学ぶ場として「認知症サポーターステップアップ講座」も開催していますので、是非関心のある方は各地域包括支援センターへお問い合わせいただきたいと思います。他に、認知症になっても住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けたいとの希望を叶えるために小牧市では、「小牧市認知症見守りネットワーク」にも取り組んでいます。

これからは地域全体で認知症の方を支える仕組みが必要だと認識しているので、認知症の方やそのご家族、地域住民、専門職が集い、話し合う場となる「認知症カフェ」の存在には大きな意義を感じています。認知症の理解啓発を図るような働きも含め、今後更にカフェが増え或いは開催頻度を高めるよう

な動きを期待しています。私たちはこれからも行政の推進部署として認知症予防や更なる支援制度や施策の充実に取り組むよう努めます。認知症の方もそうではない方も安心して住み続けられるまちとなるよう、地域住民の皆さんや関係者の方々と力を合わせて地域毎の見守り力を高めていきます。

【今回取材した認知症カフェ】

★1 オレンジカフェしのおかむら

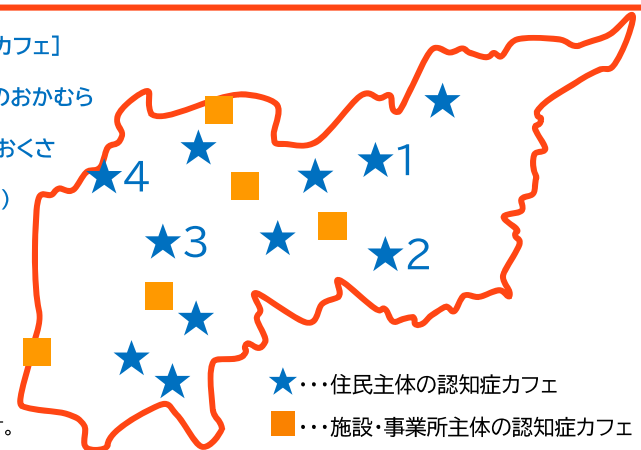
★2 オレンジカフェおおくさ

★3 カフェ・和(なごみ)

★4 結(もやい)カフェ

※右記の図は、小牧市の認知症カフェ位置図です。

★・・・住民主体の認知症カフェ
■・・・施設・事業所主体の認知症カフェ



『オレンジカフェしのおかむら』代表者インタビュー

『利用者からの「会いたかった」「まだ帰りたくない」という言葉が私たちへのご褒美です。』

◆毎月第2・4水曜日 13:00~15:00 ◆東部市民センター ◆代表:佐藤章子
◆お問い合わせ 篠岡地域包括支援センター小牧苑 78-7530



認知症の方とご家族が出かける場をつくること、ご家族の負担を減らすこと、認知症の理解啓発を図ることを目的に平成29年7月にカフェをスタートしました。途中から運営方法を変え、住民主体通所型サービスへ移行。現在まで移動支



援を行うNPO法人と合同で参加する利用者の送迎を行うカフェとして運営しています。利用者数は毎回会場が一杯になるほどです。美味しいお茶とおやつでしばらく談笑し、手足や頭を使ったゲーム・体操、カラオケ・合唱等で利用者の皆さんには楽しい時間を過ごしていただいています。一緒に活動しているスタッフは利用者の動きをよく見ていてきめ細やかに対応してくれていて、とても感謝しています。スタッフの対応の質を向上させ



ることも重視していて、定期的に勉強会を開催したり、他の認知症カフェへの見学も行っています。今後はもっと若い世代に入ってもらい、次の体制を担う人材を育成しなければと思っています。できれば将来的に毎週開催したいですね。



『オレンジカフェおおくさ』代表者インタビュー

『楽しいオシャベリができ、ゲームや体操を通して適度に脳を刺激しながら体を健康に保つことができる場です。』

◆毎月第1火曜日 10:00~12:00 ◆大草会館 ◆代表:波多野正子

◆お問い合わせ 篠岡地域包括支援センター小牧苑 78-7530

毎回、役員を中心に皆で意見を出しながらカフェをより楽しくするゲームや体操等のプログラムを利用者目線で考え実施してきたので、利用者との信頼関係も培われてきていて、いつもゲームの際は盛り上がり過ぎて楽しく過ごすことができ



ています。スタッフも常にモチベーション高く取組んでくれているのが有難いです。毎回カフェが終わってから、振り返りのミーティングを開いています。その時に世代や価値観が違うスタッフが集まっているので、様々な意見が出て皆が刺激を貰い、仲間としての絆も深まっています。これまでオレンジカフェとして回覧板を作成したり、地域の会合や集まりで活動を伝える等してきたので、地域の中でオレンジカフェの認知度は高まってい



ます。地元で長く住み続けられるよう、これからも楽しくオシャベリができ、健康を保つことができる場として、スタッフ皆で力を合わせてオレンジカフェおおくさを提供していきますので是非ご利用いただきたいですね。



『カフェ・和(なごみ)』代表者インタビュー

『多様な人たちが集い、語らっています。ゲームや体操の他に季節のイベントも開催する楽しいカフェです。』

◆毎月第2土曜日 9:00~11:00 ◆ふれあいセンター ◆代表:榎間裕子

◆お問い合わせ 小牧地域包括支援センターふれあい 77-2893

このカフェは、ふれあいセンターで運営していることもあり、認知症カフェでありながら参加される方がとても多様です。認知症の方の他にも、ご近所の高齢者の方々、この施設を利用されている障がい者の方々やボランティア団体の方々



来店されます。おもてなしするスタッフも若い方から高齢者まで幅広い世代のボランティアスタッフが揃っています。私は認知症だった母親の介護の経験から、お役に立てることがきっとあると信じてこの取組みを代表として引き受けようと思いました。運営する際の苦労は特に思い当たることはなく、ゲーム、体操やお祭り等の企画、そしてカフェの飾りつけまで考えることがとても楽しいと感じています。スタッフとの信頼関係も深く、



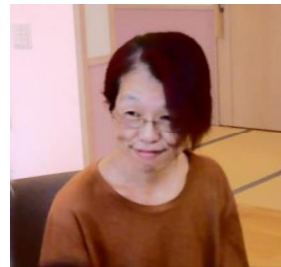
こうしていきたいという自分の思いをよく理解してくれて、スタッフ自身も楽しんで活動しているのでありがたいです。今後は、ネットワークを広げながら活動を支える若い世代に繋げていくことも意識して取組みたいですね。

『結(もやい)カフェ』 代表者インタビュー

『利用者の方の話を傾聴すること、カフェにいるみんなが笑顔でいることを心がけています。』

◆毎月第4土曜日 9:30～11:30 ◆地域密着型特別養護老人ホーム 結いの郷 小牧

◆代表:田井淳代 ◆お問い合わせ 小牧地域包括支援センターふれあい 77-2893



コーヒーを飲みながら寛げる空気が好きで、カフェをしたいと思っていたところ認知症カフェの立上げの話があり、迷うことなく引き受けることに。認知症サポーターステップアップ講座の受講仲間と平成31年2月にカフェをスタートしま



した。現在は特別養護老人ホーム内のスペースでオープンしているので、入居者やそのご家族の方を中心に様々な方々が参加されています。認知症のご家族の方が気兼ねなく相談できる場として、また情報収集できる場としても機能しています。私自身は運営を続けてきて、つながることが本来ない方とご縁ができてよかったなと思っています。それから認知症に対する偏見がなくなりました。心がけているのは、利用者の方の話を傾聴す



ることとスタッフにも楽しんでもらうこと。カフェにいるみんなが笑顔でいることが一番大切です。今は移動カフェにも取り組んでいます。ワクティブこまきで開催していますので、是非たくさんの方にカフェへご来店いただきたいですね。

認知症予防について学ぶ

『これからの時代は自分で認知症予防に努めることが重要です。特に人との交流が大切！是非、サロンやカフェに足を運んで欲しいですね。』

篠岡地域包括支援センター小牧苑 認知症地域支援推進員 丹下和彦氏



認知症予防は規則正しい生活が重要です。その逆の規則正しくない生活は、認知症予防にとって悪影響です。例えば、お酒をたくさん飲む、睡眠時間が短い、人と話さないと言ったことが挙げられますので、認知症予防につながる生活習慣を身に付けていただきたいと思います。(表2参照)

「バランスの良い食事」「適度な運動」「人との交流」「趣味を楽しむ」等が効果的と言われています。特に「人との交流」がポイントだと思います。今の時代は、近くに家族が

いない方も多いので、地域で交流する機会がとても大切です。地域社会の活動に参加すれば、自分の変化に周りが気づいてくれることにもつながります。何をしたらいいかと悩むのではなく、「楽しいことを見つけてたくさん笑う」「ほめる、ほめられる」等、どう刺激のある日常を送るかに関心を寄せて生活していただきたいと思います。そのような場である地域のサロンや認知症カフェに足を運んでください。適度な刺激を感じる楽しい時間を過ごすことができます。

まずは自分自身で生活習慣を見直し、認知症予防につなげて、永く健康やかに生活することを目指していただきたいです。

《生活習慣改善による認知症予防》

「魚・野菜・果物などをバランス良く摂りましょう」

「適度な運動を習慣にしましょう」

「人と交流する機会を持ちましょう」

「趣味を持って積極的に取り組みましょう」

※小牧市・地域包括支援センター発行の冊子「小牧市認知症ケアパス」より引用。

表2



ランティアを始めてみませんか！

ボランティア・市民活動とは？

ボランティア・市民活動についてはいろいろな説明があります。一つの説としては、市民(住民)一人ひとりの自発的な意志にもとづいて、金銭的な利益などの見返りを求めることなく、地域社会を住みよくする活動や他者を支える活動などの社会的活動に携わることといえます。

ボランティア活動を始める前の知っておきたい心がまえ10カ条

- 1 **自分に合った身の回りのことから手がけましょう**
私たちの身の回りには、身近な問題が顔を出しています。身の回りに目を向け、自分に合ったことから始めましょう。
- 2 **相手のニーズに合わせて活動しましょう**
相手の自立を妨げるような行動はさけ、相手の立場に立ってものごとを考え行動しましょう。
- 3 **無理のない計画をたてましょう**
自分やグループの力量にあわせて無理のない計画をたて、細く長く自分の生活のリズムに組み入れた活動にしましょう。
- 4 **約束は守りましょう**
ボランティア活動は人と人との信頼によって成り立つものです。活動の場での約束や知り得た情報は必ず守り、責任ある行動をとりましょう。
- 5 **秘密は守りましょう**
ボランティア活動を通して、いろいろな人の悩みや問題の相談を受けることも多くあります。しかし、個人のプライバシーに関することは決して他言しないことです。秘密を守ることは、活動における信頼関係を深めることに不可欠です。
- 6 **たえず学習し、自分を成長させましょう**
ボランティア活動を続けると、いろいろな問題にぶつかります。活動の反省をし、評価を行い、次の活動がより効果的に行われるように、繰り返し学習しましょう。
- 7 **宗教や政治活動とは区別しましょう**
自分の信仰している宗教や、支持している政党などを、相手に勧めたり強要してはいけません。信仰の自由、思想・信条の自由をお互い守り、尊重しましょう。ボランティア活動は、人権尊重そのものであるという重い意味をかみしめましょう。
- 8 **謙虚さも大切にしましょう**
ボランティア活動は、押し付けになればかえってマイナスです。けっして“してあげる”という発想ではなく、協力者であり援助者であるという立場でたえず尋ねる姿勢、学ぶ姿勢は必要です。
- 9 **まわりの理解と協力を得ておきましょう**
家族の理解と協力を得ておきましょう。また、職場、学校などで理解と関心をもってもらうことが、ボランティアの輪を広げることにつながります。
- 10 **安全対策に充分配慮しましょう**
万一の事故に備えて安心して活動できるように活動場所の点検や、事故が起こった場合などの対応を学習することも必要です。

※上記内容は、社会福祉法人 愛知県社会福祉協議会ボランティアセンターが制作した冊子「みんなでボランティア」から引用したものです。

ボランティアを始めるなら、まずはこのLINEやホームページをのぞいてみましょう！

こまき市民交流テラス ワクティブこまき

市民活動に加えボランティア活動、地域活動、生涯学習活動等の情報提供やそれぞれの活動をつなぐ多機能型施設です。みなさんの情報交換・発信や交流の場としてぜひご利用ください。

- ボランティアの紹介・相談
- ボランティア体験会の開催
- ボランティア情報誌「こまボラ」の発行
- ボランティア情報のLINE配信

TEL:0568-48-6555 小牧市小牧3丁目555ラピオ2階

Mail:wactive-komaki@grace.ocn.ne.jp



ワクティブこまきボランティア情報LINE
ボランティア情報を随時配信しています。お気軽にご登録いただき、やってみたい！と思うボランティアがありましたら、お返事ください。

小牧市社会福祉協議会 ボランティアセンター

ボランティア活動に関心のある方に、活動の紹介や情報の提供、活動中の方には活動の支援や相談に応じています。活動に参加したい方はぜひお声かけください。

- ボランティアの情報提供・相談
- ボランティアの育成
- ボランティアの活動支援
- ボランティアの普及・啓発

TEL:0568-77-0636

小牧市小牧五丁目407番地(ふれあいセンター内)

Mail:kshakyo-vc@gw.komaki-shakyo.or.jp

【ホームページ】

<https://www.komaki-shakyo.or.jp>

一寸奉仕こまき【会員募集中】

●活動目的

小牧市内で一人暮らしの高齢者や障がい者のお困りごとを手助けしています。

●活動内容

庭の草取り、庭木の剪定・伐採、掃除、不用品処理、ボツチャサポーター等お困り事のお手伝いを、1時間位で出来る活動となるよう心がけています。

●活動日時 随時

●活動場所 依頼された場所

●連絡先 舟橋恵一

TEL:090-2777-2784 E-mail:huiyizhouqiao2@gmail.com

【代表インタビュー/舟橋恵一代表】

「出来る事を、出来る人が、出来る時にやりましょう！」を合言葉にシニア世代が中心となって活動しています。一人暮らしの高齢者の方が増えると共に、生活の中のお困りごとが増えていき、令和6年度は100件を超える依頼に対応しました。今後も益々依頼が増えることが予想されますので、一緒に活動する仲間を募集しています。体験会も随時開催する予定ですので、是非一度ご連絡ください。



▲庭木の剪定



▲掃除・窓拭き

桃花台を考える会【会員募集中】

●活動目的

高齢化が急速に進んでいる桃花台ニュータウンがこれからも活力を維持できるよう様々な課題に取り組めます。

●活動内容

桃花台ニュータウンの地域課題について毎月集まって話し合い、講演会、セミナー、音楽まつり等を開催。若い世代から高齢者までがつながり、支え合う魅力あふれるまちを目指しています。

●活動日時 毎月第2火曜日 18:30～(定例会)

●活動場所 東部市民センター視聴覚室(定例会)

●連絡先 玉井宰

TEL:090-7851-4028 E-mail:tamanet@d1.dion.ne.jp

【代表インタビュー/玉井宰代表】

私たちはこの地域が住みよいまちとなるよう15年前から活動を開始。地域課題をテーマとした「まちづくり講演会・シンポジウム」や「我が家の相続セミナー」を実施すると共に、地域の新しい文化の創造を掲げて「音楽講座」「音楽まつり」を開催してきました。今後も小牧市との協働提案事業を中心に、より良いまちへ寄与する活動を進めてまいります。皆さまのご参加をお待ちしています。



▲音楽まつり



▲我が家の相続セミナー

こまき視覚障がい者の会【会員募集中】

●活動目的

視覚障がいのある人が暮らしやすい街づくり

●活動内容

- (1) 視覚障がいのある人が情報交換などを行う交流の場を提供する
- (2) 視覚障がいのある人の暮らしを向上させる研修などを行う
- (3) 市民のみなさんに視覚障がいのある人について理解を深めるための講演会などを行う

●活動日時 毎月活動

●活動場所 ワクティブこまき他

●連絡先 水谷直美

TEL:090-3933-3557 E-mail:way.hazime@gmail.com

【代表インタビュー/水谷直美代表】

2020年3月に小牧在住者を中心に5名の視覚障がい者で団体を設立。支援を受けるだけではなく、自らの存在意義を考えながら積極的に社会参加し活躍したいと願って活動をスタートさせました。これまでに当事者の社会参加を促すiphone講座やおしゃべりサロン等を定期的に実施。暮らしやすい街づくりのための体験型イベントも開催してきました。また、当事者にとって必要な情報取得の困難さを解決する『ものタグ「アテンドナビ」』の開発にも関わってきました。これからも目の前にある課題をひとつずつ市民の皆さんと協働して解決し、ソーシャルインクルージョンを推進していきたいと考えています。



▲iphone講座



▲おしゃべりサロン

市民活動団体・ボランティアグループのご紹介

高 高齢者を支える活動

障 障がい者を支える活動

健 健康・保健づくりの活動

防 防犯・防災活動

芸 芸能・レクリエーション活動

文 文化・教育・子どもの活動

環 環境・まちづくり活動

団 体 名	活動内容	お問合せ
高 あい心の窓	「心で聴き心で癒す」傾聴活動を通じて地域との交流を深め、皆がより良い人生を送ることができるようにと思い取り組んでいます。	◆代表者:伊東廣二郎 ◆電話番号:090-4115-8894 ◆E-mail:eyepri-h@lake.ocn.ne.jp 【会員募集中】
高 傾聴ボランティア「こまき」	主に高齢者の孤独感の緩和に努めることを目的に、寄り添う心で耳を傾けて話を聴き、心の負担を少しでも軽くするお手伝いをしています。	◆代表者:松田尚士 ◆電話番号:090-9948-3081
高 ボランティアあかり	毎月3回、小牧苑の喫茶コーナー「あかり」にて小牧苑入所利用者の方々と明るい会話で心を通わせるふれあいサービスを行っています。	◆小牧市社会福祉協議会ボランティアセンターまでお問合せ下さい。 【会員募集中】
障 ガイドヘルプ友の会	視覚障がい者の方や車いす利用の方の外出のお手伝いをしています。また、市内小学校で福祉実践教室(アイマスク体験・車いす体験)の授業を行っています。	◆小牧市社会福祉協議会ボランティアセンターまでお問合せ下さい。 【会員募集中】
障 声のボランティア「かつこう」	主に、視覚障がい者への音訳等のボランティア活動を目的とし、あわせて音訳技術の研鑽と会員相互の親睦をはかっています。	◆小牧市社会福祉協議会ボランティアセンターまでお問合せ下さい。 【会員募集中】
障 ここばりこまき	しょうがいのある人へのこころのバリアをなくし、誰もが暮らしやすいこまきのまちをつくることを目的に、イベントや学習会の開催をしています。	◆代表者:山中和彦 ◆E-mail:mail@kokobari-komaki.net 【会員募集中】
障 小牧市おもちゃ図書館きらら	障がいや発達に支援の必要な子どもとご家族が安心して過ごせるようおもちゃづくり、おもちゃの貸出しや遊べる場の提供等を行っています。	◆小牧市社会福祉協議会ボランティアセンターまでお問合せ下さい。 【会員募集中】
障 手話サークルおてだま ★P.1にイベント情報掲載	聴覚障がい者とともに手話を学び、お互いに理解を深めながら交流を続けています。これからも聴覚障がい者の権利を守る活動に取組みます。	◆小牧市社会福祉協議会ボランティアセンターまでお問合せ下さい。 【会員募集中】
障 手話サークルふたば ★P.1にイベント情報掲載	聴覚障がい者に対する理解の啓蒙に取組み、ゲーム等に興じながら手話を学び、聞こえない又は聞こえにくい人と聞こえる人との交流を図っています。	◆小牧市社会福祉協議会ボランティアセンターまでお問合せ下さい。 【会員募集中】
障 点訳グループ「たんぽぽ」	視覚障がい者のために広報や図書を点訳しています。また、視覚障がい者関係行事や福祉教育活動などのお手伝いもしています。	◆小牧市社会福祉協議会ボランティアセンターまでお問合せ下さい。 【会員募集中】
障 パパママサポート あおぞら ★P.1にイベント情報掲載	発達障がいなど特性の強い子の子育てをサポートしています。また、発達障がいについての理解啓発活動も行っています。	◆代表者:平有夏 ◆E-mail:aozora.komaki1202@yahoo.co.jp 【スタッフ随時募集中】
障 要約筆記 こまき	聴覚障がい者、特に手話の分からない難聴・中途失聴者が社会参加できるよう、その場の音声情報を文字で伝えるコミュニケーション支援を行っています。	◆小牧市社会福祉協議会ボランティアセンターまでお問合せ下さい。 【会員募集中】
健 小牧市食生活改善協議会	生涯食育に向けた講習会を行い、食育の推進に努めています。また、ふれあい会食会等で地域の高齢者の方々と接して低栄養の防止を訴えています。	◆小牧市社会福祉協議会ボランティアセンターまでお問合せ下さい。

※各団体の掲載内容は令和7年10月時点の情報に基づくものです。

市民活動団体・ボランティアグループのご紹介

高 高齢者を支える活動

障 障がい者を支える活動

健 健康・保健づくりの活動

防 防犯・防災活動

芸 芸能・レクリエーション活動

文 文化・教育・子どもの活動

環 環境・まちづくり活動

団体名	活動内容	お問合せ
健 こまき歯っ磨るテイスターズ	歯科衛生士の知識と技術を生かして、老若男女を問わずお口の健康を守る方法を身近な生活体験を通して、わかり易くお話しさせていただきます。	◆代表者:三宅やよい ◆電話番号:0568-79-9432 ◆E-mail:planet.y.s@md.ccnw.ne.jp 【会員募集中】
健 篠岡リハビリ教室「ももの会」	家に閉じこもりがちな地域の高齢者を対象に、体操、歌、ゲームや創作活動によるリハビリ活動の場を月2回、企画提供しています。	◆小牧市社会福祉協議会ボランティアセンターまでお問合せ下さい。 【会員募集中】
健 桃花台健康太極拳同好会	100歳まで健やかに元気で生きる会。楊名時24式太極拳を通じ「心・息・動」の技術を学びます。	◆代表者:江川昌己 ◆電話番号:090-5456-2041 ◆E-mail:fujii1948@icloud.com (担当/藤井義行) 【会員募集中】
防 小牧災害ボランティアネットの会	災害時のボランティア活動体制づくり、コーディネーターの育成、他市町グループとのネットワークづくりに取り組んでいます。また防災・減災の啓発活動を行っています。	◆小牧市社会福祉協議会ボランティアセンターまでお問合せ下さい。 【会員募集中】
防 小牧防災リーダー会	地域の防災意識の普及を目的に、会員の防災知識及び技術の向上と会員相互のネットワークづくりに取り組んでいます。	◆代表者:高柳康夫 ◆電話番号:0568-73-0177 ◆E-mail:ymyj8810@yahoo.co.jp 【会員募集中】
芸 小牧フォークダンスの会 わかばクラブ	フォークダンスの習得を通じ会員相互の親睦を深め、心豊かな家庭を築き、学校・老人ホーム等でのふれあいにより、地域社会に貢献します。	◆小牧市社会福祉協議会ボランティアセンターまでお問合せ下さい。 【会員募集中】
芸 小牧マジッククラブ ★P.1にイベント情報掲載	各自がマジックの技術向上に努め、幼児から高齢者まで依頼された福祉施設・公民館・学校等で皆さんにマジックを楽しんでいただいています。	◆小牧市社会福祉協議会ボランティアセンターまでお問合せ下さい。 【会員募集中】
芸 フォルクローレクラブ	当クラブは、南米アンデス地方の民族楽器「ケーナ」の吹き方を学び、「コンドルは飛んでいく」「花祭り」等の曲演奏を学び、機会があれば小牧市内の皆様にも「ケーナ」の魅力ある音色を楽しんで頂きながら交流を図れればと願って活動しています。	◆代表者:西村文雄 ◆小牧市社会福祉協議会ボランティアセンターまたは東部市民センターまでお問合せ下さい。 【会員募集中】
文 おりづる	児童館、福祉施設等で折り紙を通じてふれあい活動をしています。指先の刺激が脳をいきいきさせて集中力がアップします。	◆小牧市社会福祉協議会ボランティアセンターまでお問合せ下さい。 【会員募集中】
文 小牧歴史ガイドボランティア たぶの木会 ★P.1にイベント情報掲載	小牧の貴重な文化財、歴史、文化について研鑽し、地域や次世代に継承することを目的としてボランティア活動を行っています。	◆代表者:犬飼武彦 ◆電話番号:090-2617-5346 ◆E-mail:mr.dogkeeper@me.ccnw.ne.jp 【会員募集中】
文 桜井楽成会	桜井区域内に住む子どもたちや親子の思い出創りとして、納涼夏まつりや秋の豊年祭にて山車製作、祭事協力に取り組んでいます。	◆小牧市社会福祉協議会ボランティアセンターまでお問合せ下さい。 【会員募集中】
文 シニア体験グループ	高齢者の疑似体験の場を学校での福祉実践教室や福祉展で提供。児童や市民へ向けて高齢者理解の啓発・推進に取り組んでいます。	◆小牧市社会福祉協議会ボランティアセンターまでお問合せ下さい。 【会員募集中】
文 地域こども食堂∞無限堂∞	子どもを中心とした地域住民の交流、学習支援、食事提供、居場所づくりに取り組んでいます。	◆代表者:上田満理 ◆電話番号:090-8150-0470 ◆E-Mail:kakumari1113@gmail.com 【会員募集中/要面談】

※各団体の掲載内容は令和7年10月時点の情報に基づくものです。

市民活動団体・ボランティアグループのご紹介

高 高齢者を支える活動

障 障がい者を支える活動

健 健康・保健づくりの活動

防 防犯・防災活動

芸 芸能・レクリエーション活動

文 文化・教育・子どもの活動

環 環境・まちづくり活動

団 体 名	活動内容	お問合せ
文 ちえりっしゅ子ども食堂	子ども、子育て世代、高齢者等あらゆる世代が気軽に情報交換や相談ができる交流の場所となるよう子ども食堂を行っています。	◆小牧市社会福祉協議会ボランティアセンターまでお問合せ下さい。 【会員募集中】
文 日本語学習「手まり塾」	外国籍の子ども達に日本語を中心とした学習の支援をすると共に、日本の生活に溶け込めるよう挨拶等についても教えています。	◆代表者：荻谷敏彦 ◆電話番号：090-3554-1904 ◆E-Mail：kariy.a@yk.commufa.jp 【先生募集中】
環 愛林会	愛着ある桃花台の緑を守っていくため、「地球温暖化防止の森づくり」を目標に、里山保全整備活動で地域貢献を行っています。	◆代表者：鳥居郁夫 ◆E-mail：ad55756@md.ccnw.ne.jp 【会員募集中】
環 小牧おもちゃ病院トイトイ	おもちゃの修理により、ものを大切にする心、科学する心が育ちます。また、リサイクルにより環境保全に貢献しています。	◆小牧市社会福祉協議会ボランティアセンターまでお問合せ下さい。 【会員募集中】
環 小牧市更生保護女性会	更生保護活動に協力し、犯罪や非行のない明るい社会・地域づくりの活動に取り組んでいます。また、子育て支援活動にも取り組んでいます。	◆小牧市社会福祉協議会ボランティアセンターまでお問合せ下さい。 【会員募集中】
環 シニア低山登ろうかい ★P.1にイベント情報掲載	低山を中心に「楽しい」をモットーに山歩きをしています。環境保全活動を通してこどもの健全育成につなげるよう取り組んでいます。	◆代表者：宮脇稔 ◆電話番号：090-5116-0648 ◆E-mail：m.miyawaki@ma.ccnw.ne.jp 【会員募集中】
環 こまき地産地ショープロジェクト	地産地消をテーマに、小牧市の特産品を使った料理イベントの開催、新たな特産品等の開発、知られていない魅力の発信に取り組んでいます。	◆代表者：安江銀次 ◆電話番号：090-5871-3068 ◆E-Mail：nagareboshi2737@gmail.com 【会員募集中】
環 篠岡地区婦人奉仕団	「誰もが住み慣れた地域で安心して生活できる地域づくり」を目指し「ふれあい」を通じて人と人・心と心がつながり、あたたかい地域が育つよう活動しています。	◆小牧市社会福祉協議会ボランティアセンターまでお問合せ下さい。 【会員募集中】
環 ちごりんの里山 ★P.1にイベント情報掲載	小牧市の花コバノミツバツツジの保護と観察会の実施、林内整備・除伐体験・植樹体験等、地元小学生の自然体験活動の場をつくっています。	◆代表者：橋本保 ◆電話番号：090-9175-1923 ◆E-mail：tamotu.h@ma.ccnw.ne.jp 【会員募集中】

※各団体の掲載内容は令和7年10月時点の情報に基づくものです。

掲載団体募集 活動団体・ボランティアグループ・サークルの皆様へ

本情報誌「しのおかてらす」にあなたの団体を掲載してみませんか！計画している主催イベント等の情報と共に地域へ向けて広く発信するお手伝いをします。是非ご一報ください。



地域貢献活動を支える団体のご紹介

「小牧市障害者団体連絡会」

障害者についてより多くの方に理解を広げたいとの思いから、当事者団体および支援者団体が集まり、当連絡会を2019年2月に発足。小牧市のさまざまな障害者当事者団体、支援者団体がつながって、いろいろな障害のある人の立場を互いに知り合い、共同して市民に向けて発信していくことで、障害のある人も誰もが暮らしやすいまちづくりを進めていくことを目的に活動しています。

「小牧市障害者団体連絡会通信」を年3回発行。さまざまな団体の活動を中心に情報を発信しています。ホームページも是非ご覧ください。

【ホームページ】<https://komaki-sdr.sakura.ne.jp>

■加入団体

[正会員]ここぱりこまき、小牧市おもちゃ図書館きらら、こまき視覚障がい者の会、小牧市肢体不自由児者父母の会、小牧市難聴・中途失聴者協会

[賛助会員]小牧市聴覚障害者福祉協会、小牧おひさまクラブ、手話サークルおてだま、手話サークルふたば、全国障害者問題研究会小牧サークルかざぐるま

■活動に賛同していただける団体、個人の方を募集しています。[正会員/団体のみ年会費2,000円][団体賛助会員/年会費1,000円][個人賛助会員/1,000円]

■お問い合わせ先

【メール】mail@komaki-sdr.sakura.ne.jp

「小牧市老人クラブ連合会」

『のぼそう健康寿命！担おう地域づくりを！』をメインテーマに、小牧市では6地区53クラブが自主的に特色ある活動を行っています。また、連合会としても「芸能発表会」「健康体操研修会」「グラウンドゴルフ大会」等を開催し、クラブ同士の親睦を図っています。地域内での生きがいづくりや仲間づくりとして、住み慣れた地域のクラブ活動に参加してみませんか！興味がある方は、お住いの老人クラブまたは下記へご連絡ください。また右記QRコードからホームページも是非閲覧ください。

【小牧市老人クラブ連合会】TEL:0568-77-4141



▲グラウンド・ゴルフ大会(令和6年度)

「ジュニア奉仕団&ジュニア奉仕団世話人会」

「ジュニア奉仕団」は小牧市内の中学校区毎に中学生が自ら、計画立案・実施・振り返りを行い、「地域清掃活動」「街頭募金活動」「児童館活動」等の地域奉仕活動に取り組んでいます。

「ジュニア奉仕団世話人会」は自主性に根差した地域のジュニア奉仕団の活動を支えるため、保護者をはじめ会員が自主的に参加しています。

[小牧市内9中学校]

小牧中学校・味噌中学校・篠岡中学校・北里中学校・応時中学校・岩崎中学校・桃陵中学校・小牧西中学校・光ヶ丘中学校

【お問い合わせ先】小牧市社会福祉協議会ボランティアセンター



▲募金活動(歳末助け合い運動)



事業者の地域応援活動のご紹介

小牧商工会議所の取り組み

『小牧発祥！名古屋コーチンを育てる・磨く・つなぐ・伝える』

私たちは、地域ブランドの価値を高めるプロジェクト活動を進めています。

小牧市から始まった名古屋コーチンの歴史。この地域資源を最大限に活用し、小牧市では名古屋コーチン発祥の地として、観光振興・事業者振興に取り組んでいます。愛知県全体としては減少傾向にある養鶏業者ですが、小牧市では若い後継者により引き継がれています。食品製造業者も協力し、名古屋コーチンの肉・卵を使った新商品が数多く作られており、これらの商品が、気軽に購入できる場所が増えていきます。また外食で名古屋コーチンを食べることができるよう市内飲食店でも様々なメニューが考案され、ジャンルを問わず名古屋コーチンを味わうことができます。

小牧商工会議所には「こまきブランド向上委員会」という委員会があり、名古屋コーチンを使った観光啓発事業や航空自衛隊小牧基地と連携した「空自空上げ（鶏の唐揚げ）」PR活動等を通して、地域資源のブランド力向上に取り組んでいるとのこと。また、地域資源（桃、梨、ぶどう、エビ芋、名古屋コーチン等）を活用し、商品やメニュー開発・改良を行う事業者に向けた『開発奨励金』制度があり、多くの商品が日々開発されているそうです。今後も小牧市の産業や観光の更なる振興に期待が高まります。



▲名古屋コーチン生みの親「海部壮平」の墓標



▲名古屋コーチンイメージ写真



▲名古屋コーチンを使った「ひきずり鍋」イメージ写真

株式会社伊藤次郎商店の取り組み

●企業理念“ひとに愛され まちに貢献する 商店となる”を大切に。

昭和39年の創業以来、地域の方々の生活を豊かにする住宅関連事業に取り組んできました。お客様の家を守ることを使命と考え、「地域密着」「即時対応」「適正金額」を旨としてきたので、永くお客様と良好な関係を継続することができています。事業においては、地域の活性化をテーマに空き家対策に通じる不動産事業を昨年始めました。桃花台地区を中心に空き家の仲介や魅力的な戸建て賃貸住宅リフォーム等を進め、若い世代の方々にも住んでいただけたらと考えています。

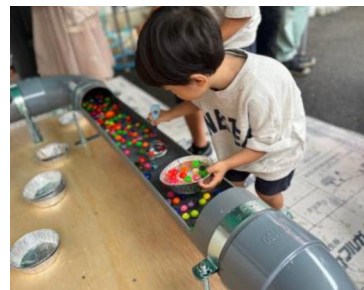
●「お客様大感謝祭」をはじめ、様々な地域貢献活動に取り組んでいます。

まちへの貢献は、私たちの存在理念です。その考え方に従っておよそ20年前から「お客様大感謝祭」を開催してきました。地域住民の方々と一日楽しく過ごす秋のお祭りとして定着し、今では一日で千人ものご来場をいただいています。毎年キッチンカー、縁日イベントの他、協業する住宅系企業とコラボし、「網戸張替え」実演イベントや「塗装塗り」体験イベントも行っています。また今年から地元の店舗を応援する地域貢献活動として、スタンプを貯めて地域店舗のクーポンをゲットできる公式アプリを開発しました。地元の店舗の商売繁盛につなげながら、地域住民の方々へお得なクーポン特典を提供する当商店独自の貢献スタイルです。

これからも地元を応援する取り組みを続け、「まち」と「ひと」になくてはならない存在を目指し続けます。



▲株式会社伊藤次郎商店の社屋外観写真



▲「お客様大感謝祭」の写真



◀ 左記QRコードから「伊藤次郎商店公式アプリ」をダウンロードしてください。

小牧市の東部振興構想

小牧市で官民が協働して取り組む『東部振興構想』ってご存じですか？

小牧市東部地域では、市内の他地域に比べ、人口減少・少子高齢化が急速に進行しており、空き家の増加、農家の後継者不足等、今たくさんの課題を抱えています。

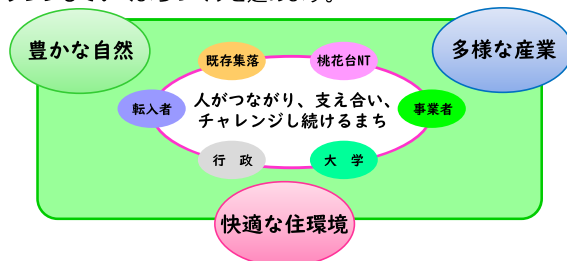
そんな課題を希望に変え、東部地域を持続的に発展し続けるまちとするため、東部地域のまちづくりのめちしるべとなるよう「まちの将来像」や「ヴィジョン」を明確にした『東部振興構想』を令和4年3月に策定し、「高齢者のいきがい・居場所づくり」「外国人・日本人住民の交流機会の創出」「農業を支え、発展させる仕組みの構築」等の取り組みを進めています。

東部地域の将来像



人がつながり、支え合い、チャレンジし続けるまち
～豊かな自然、快適な住環境と多様な産業が共存するまちづくり～

東部地域全体が持続的に発展し続けるまちとしていくため、自然、住環境、産業が共存し、地域住民、事業者、教育機関、行政、その他関係者が連携・協力し、東部地域が一体となり、夢と希望を持って、新たなまちづくりへチャレンジしていくまちづくりを進めます。



まちづくり5原則(基本的な考え方)



東部地域のまちづくりを進めるうえで、根底となる考え方を5原則で表したものです。この5原則を意識し、まちづくりを進めます。

一体性	東部地域一体でのまちづくり
自立性	地域住民による自立したまちづくり
多様性・活用性	多様な地域資源を連携・活用したまちづくり
柔軟性・可変性	柔軟性・可変性を持ったまちづくり
将来性	チャレンジをサポートするまちづくり

※詳しくは小牧市役所のホームページにて「東部振興構想」をご覧ください。【ホームページ】<https://www.city.komaki.aichi.jp>

ビジョンと推進体制



東部地域の将来像(基本理念)に掲げる理想のまちの実現に向け、居住者、就業者、来訪者や転入者などまちづくりの中心となる「人」に焦点をあてた次の3つのヴィジョンを定め、「計画の推進」によりまちづくりを進めていきます。

ヴィジョン1

多様な人が暮らし続けられるまち 《対象：居住者》

様々な人たちが世代・国籍を越えてつながり、充実した都市インフラの有効活用も図りながら、地域住民、事業者、行政等が連携・協力していつまでも暮らし続けられる環境を整備していくことを目指すものです。



ヴィジョン2

多様な職業が共存し、持続できるまち 《対象：就業者》

人のつながりにより多様な職業が共存し、持続できる環境の整備を進めることで、他にはない魅力を備えるまちとしていくことを目指すものです。



ヴィジョン3

訪れたい、住みたい魅力のあるまち 《対象：来訪者・転入者》

地域の魅力発信や地域資源を活用した取組に加え、新たな住民を受け入れる雰囲気や醸成し、まちを楽しむイベントの創出など、住みたく環境をつくり、「モノ」「ヒト」「コト」の魅力を向上することで、この東部地域を今より魅力あるまちに創造していくことを目指すものです。



計画の推進

まちを育む体制の構築

まちを育む体制を構築するため、2つの方向に沿って体制づくりを進めます。

方向1《産学官民》人と人がつながる仕組みの構築

方向2《地域経営》地域活動の自立性や持続性を担保する地域経営の取り組み



既に本構想の指針に沿った地域住民発の新たなプロジェクト活動がたくさん生まれています。あなたもみんなで協力して取り組む東部地域のまちづくりに参加してみませんか！

本構想では、地域住民の参加のきっかけとなる「仲間増やし」「企画のブラッシュアップ」のためのワークショップ『人と人がつながるプロジェクト』が行われています。また、自分たち自身で発想したアイデアを具体的にブラッシュアップして実行する『まずはやってみようプロジェクト』からはたくさんのプロジェクト活動が生まれ、現在も活発に活動が行われています。

今後は、更に東部地域のまちづくり活動を大きく前進させるために、地域住民をはじめ、市民活動団体、企業・事業者、教育機関、行政など関係する人たちが共通認識を持ち、夢や希望に向かってまちづくりをすすめていきましょう。

※上記掲載内容は、小牧市都市政策部東部まちづくり推進室の監修の下、作成しました。

しのおかてらすについて

小牧市東部に位置する篠岡地区は、桃花台ニュータウンを中心に少子高齢化および人口減少が進み、まちのパワーが徐々に小さくなっているエリアです。そのため今後様々な地域課題が顕在化し、生活に困難を抱える住民が増えていくかもしれません。こうした憂慮すべき現状を改善・解消しつつ地域住民の交流が盛んな活気あふれるまちを実現するためには、地域住民自身が『つながり、支え合う』関係を強固に築き上げなければなりません。

これまで同エリアにおいては数多くの市民活動団体、ボランティアグループ、市民サークルが積極的に活動して、地域課題の改善・解消に資する取組みを続けてきた歴史があります。しかしながら今後更に多様化・深刻化する地域課題に地域住民が力を合わせて向き合うためには、その活動参加者が不足している状態であると自覚する必要があります。

この問題を地域の共通認識とし、地域活動への参加を呼び掛けると共に、地域内で活動する各活動団体の情報発信を支援するために市民活動団体『しのおかネットワーク』を立上げ、地域貢献活動情報誌『しのおかてらす』を2026年4月に創刊することとしました。今回その準備号として第1弾を制作しました。本情報誌を読んでいただき、地域活動への参加を考えるきっかけとなればと願っています。是非、一緒に「つながり ささえあい にぎわうまち」をつくりましょう。

掲載団体募集 しのかてらすに掲載していただける市民活動団体・ボランティアグループを募集しています！

協賛企業募集 しのおかネットワークの活動に協賛していただける事業者を募集しています！

スタッフ募集 しのおかてらすと一緒に制作する企画・編集スタッフを募集しています！

企画・編集・発行：しのおか  ネットワーカー

◆募集についてのご連絡・内容についてのご意見・お問合せ先

代表 古園井直紀(こぞのいなおき) Email:naoki.kozonoi@gmail.com